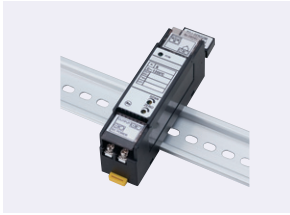


ミスミ

熱電対・測温抵抗体温度変換器 ETD10シリーズ



ココが特長 温度センサからPLCに取り込む信号に変換
 ●熱電対・測温抵抗体入力を電圧出力または電流出力に変換
 ●DINレール取付で低背タイプ

在庫品



・入力許容値を超える電圧や電流を印加すると機器の破損になります。
 ・電源電圧は使用可能範囲で使用してください。

1台単位



型番	計測要素	入力仕様	出力仕様	電源仕様	通常単価			
					¥1~2台	¥3~9台	¥10台~	
ETD10	HT (熱電対)	1(K -50~200°C)	2(DC-10~10V) 5(DC0~20mA)	1 (DC24V)	WEBでご確認 お願いします。			
		2(K 0~1200°C)	1(DC0~10V) 2(DC-10~10V) 5(DC0~20mA)	1 (DC24V)				
	RH (測温抵抗体)	1(Pt100Ω -20~80°C)	2(DC-10~10V) 5(DC0~20mA)	1 (DC24V)				
		2(Pt100Ω 0~300°C)	1(DC0~10V) 2(DC-10~10V) 5(DC0~20mA)	1 (DC24V)				



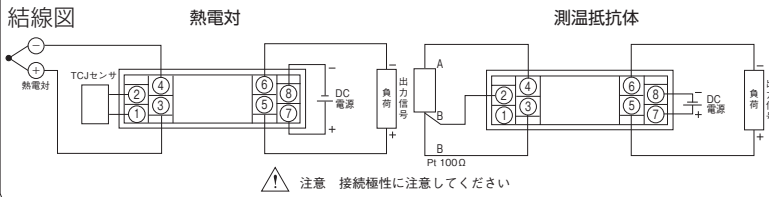
型番	計測タイプ	入力仕様	出力仕様	電源仕様
ETD10	HT	1	2	1

仕様

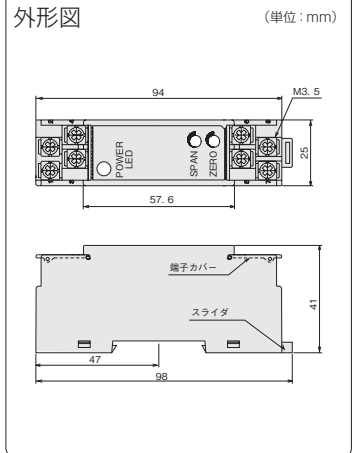
型番	ETD10-HT-121	ETD10-HT-151	ETD10-HT-211	ETD10-HT-221	ETD10-HT-251	ETD10-RH-121	ETD10-RH-151	ETD10-RH-211	ETD10-RH-221	ETD10-RH-251
計測要素	熱電対 K -50~200°C		熱電対 K 0~1200°C			測温抵抗体 Pt100Ω 3線式(C1604-1997) -20~80°C		測温抵抗体 Pt100Ω 3線式(C1604-1997) 0~300°C		
基準精度 (25°C±2°C)	±0.2% F.S					±0.1% F.S				
入力信号	K -50~200°C		K 0~1200°C			Pt100Ω -20~80°C		Pt100Ω 0~300°C		
入力抵抗	1MΩ以上		1MΩ以上			-		-		
最大許容入力値	±150%		±150%			-50~150%		-50~150%		
出力信号	DC-10~10V 正出力:4kΩ以上 負出力:10kΩ以上	DC0~20mA	DC0~10V	DC-10~10V 正出力:4kΩ以上 負出力:10kΩ以上	DC0~20mA	DC-10~10V 正出力:4kΩ以上 負出力:10kΩ以上	DC0~20mA	DC0~10V	DC-10~10V 正出力:4kΩ以上 負出力:10kΩ以上	DC0~20mA
出力負荷抵抗	550Ω以下		4kΩ以上			550Ω以下		4kΩ以上		
供給電圧	DC24V±10%					DC24V±10%				
消費電流	30mA以下	50mA以下	30mA以下	50mA以下	30mA以下	50mA以下	50mA以下	35mA以下	50mA以下	50mA以下
電源変動	±0.06% F.S					±0.06% F.S				
負荷変動	±0.06% F.S					±0.06% F.S				
温度特性	±0.02% F.S/°C					±0.02% F.S/°C				
冷接点補償精度(熱電対のみ)	10~30°Cにて±1°C					-				
パンアラート機能(熱電対のみ)	上方(135±15% F.S)					-				
断線検出(測温抵抗体のみ)	-					上方(135±10% F.S)				
センサ規定電流(測温抵抗体のみ)	-					1mA				
VR可変幅	±5% F.S以上(ゼロ、スパン)					±5% F.S以上(ゼロ、スパン)				
応答時間	220ms以下(出力の90%に至る時間)					50ms以下(出力の90%に至る時間)				
動作環境	温度: -5~50°C, 湿度: 90%RH以下(結露なきこと)					温度: -5~50°C, 湿度: 90%RH以下(結露なきこと)				
絶縁抵抗	100MΩ以上(DC500Vメガーにて): 入力-出力-電源間					100MΩ以上(DC500Vメガーにて): 入力-出力-電源間				
耐電圧	AC1500V(1分間): 入力-出力-電源間					AC1500V(1分間): 入力-出力-電源間				
材質	本体 黒色ABS樹脂 94V-2					黒色ABS樹脂 94V-2				
質量	80g					80g				

信号変換器

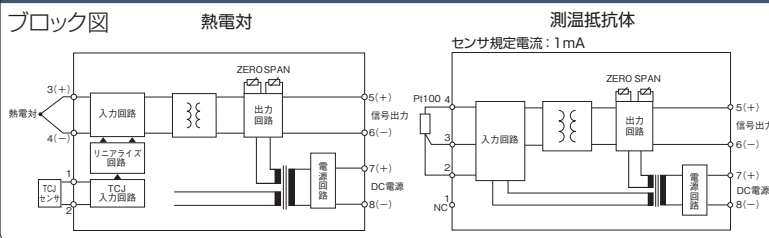
結線図



外形図



ブロック図



調整方法

ゼロ点およびスパン幅を調整することが出来ますが、出荷時に調整済みですので調整必要はありません。
 校正をする場合は電源投入後、30分以上経過してから行ってください。

●ゼロ調整

入力信号の0%相当値を入力し、この時出力が出力仕様の0%となるようZEROボリュームを回して調整してください。
 ゼロ調整とスパン調整を数回繰り返して、入力を最小と最大に切り換えた時に出力が出力仕様に入るようにしてください。

●スパン調整

入力信号の100%相当値を入力し、この時出力が出力仕様の100%となるようSPANボリュームを回して調整してください。